

2020年3月

県内企業の景況意識調査

(第172回)

共同調査

大銀経済経営研究所

大分信用金庫

大分県産業創造機構

* 2020年 1～3月期〈I期〉の実績見込み

* 2020年 4～6月期〈II期〉の見通し

2期ぶりに悪化し、先行きにも懸念

今期（2020年1～3月期〈I期〉）の業況判断BSIは、前期比8.2ポイント低下の▲24.0となり、2期ぶりに悪化した。業種別のBSIは、『建設業』『製造業』の2業種で改善し、『卸・小売業』『運輸業』『サービス業』の3業種で悪化した。

業況判断BSIは2018年I期以降、緩やかな悪化が続いており、来期も今期比マイナスとなる見通しである。今年記録的な暖冬となったことに加え、中国国内で新型コロナウイルスが検出され、その後感染が拡大したことから、住宅関連設備などを取り扱う卸売業や、海運などの運輸業、ホテル・旅館などのサービス業で業況判断BSIの悪化がみられた。

来期（2020年4～6月期〈II期〉）の業況判断BSIは、今期比7.0ポイント低下の▲31.0と悪化する見通しである。業種別のBSIは、『製造業』『金融・不動産業』の2業種で改善し、『建設業』『卸・小売業』『サービス業』の3業種で悪化する見通しである。

* 2020年 1～3月期〈I期〉の実績見込み

製造業……………わずかに改善

卸・小売業……………卸売業は大幅な悪化、小売業は横ばい

建設業……………2期ぶりに改善

サービス業……………2期ぶりに悪化

2期ぶりに悪化し、先行きにも懸念

◎業況判断

【今期】(2020年1～3月期〈I期〉)

業況判断BSI：▲24.0 (前期比▲8.2ポイント)

＜内訳＞

- ・よくなった 10.0% (前期比▲0.7ポイント)
- ・悪くなった 34.0% (前期比+7.5ポイント)
- ・変わらない 56.0% (前期比▲6.8ポイント)

＜業種別＞

- ・前期比改善：2業種 (『建設業』『製造業』)
- ・前期比悪化：3業種 (『卸・小売業』『運輸業』『サービス業』)
- ・前期比不変：1業種 (『金融・不動産業』)

業況判断BSIは2018年I期以降、緩やかな悪化が続いており、来期も今期比マイナスとなる見通しである。今年は記録的な暖冬となったことに加え、中国国内で新型コロナウイルスが検出され、その後感染が拡大したことから、住宅関連設備などを取り扱う卸売業や、海運などの運輸業、ホテル・旅館などのサービス業で業況判断BSIの悪化がみられた。

【来期】(2020年4～6月期〈II期〉)

業況判断BSI：▲31.0 (今期比▲7.0ポイント)

＜内訳＞

- ・よくなる 5.5% (今期比▲4.5ポイント)
- ・悪くなる 36.5% (今期比+2.5ポイント)
- ・変わらない 58.0% (今期比+2.0ポイント)

＜業種別＞

- ・今期比改善：2業種 (『製造業』『金融・不動産業』)
- ・今期比悪化：3業種 (『建設業』『卸・小売業』『サービス業』)
- ・今期比不変：1業種 (『運輸業』)

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲28.1 (前期比▲19.3ポイント)

5業種で悪化

収益BSI：▲23.1 (前期比▲7.7ポイント)

4業種で悪化

【来期】

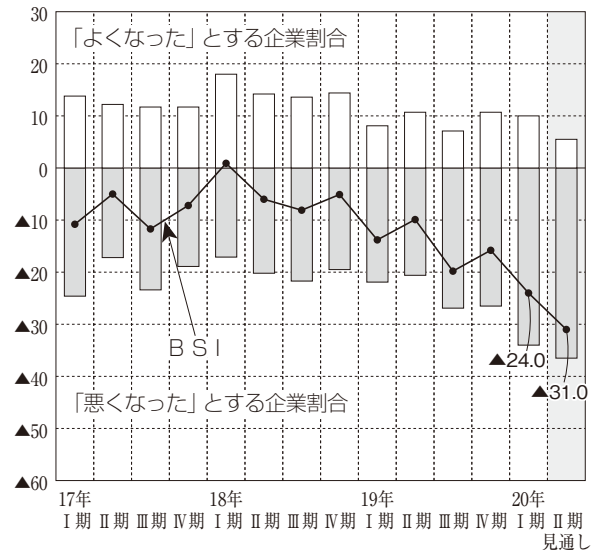
売上高BSI：▲26.1 (今期比+2.0ポイント)

5業種で改善見通し

収益BSI：▲31.1 (今期比▲8.0ポイント)

3業種で悪化見通し

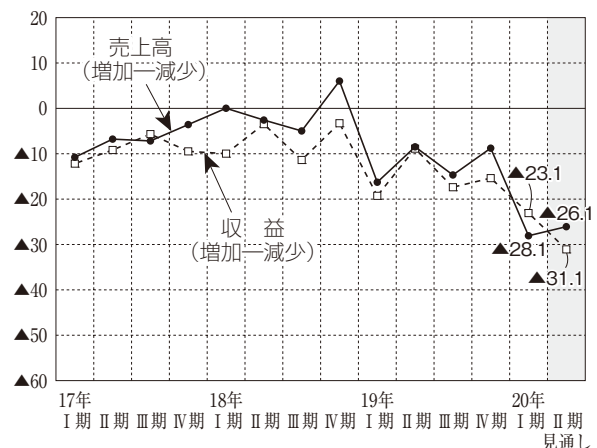
業況判断 (BSI)



業況判断指数内訳 (BSI)

	2019年 III期	2019年 IV期	2020年 I期	2020年 II期見通し
建設業	8.7	0.0	7.7	▲34.6
製造業	▲17.2	▲22.1	▲21.5	▲20.0
卸・小売業	▲26.6	▲25.9	▲41.2	▲47.0
金融・不動産業	▲12.5	▲12.5	▲12.5	0
運輸業	▲12.5	5.6	▲25.0	▲25.0
サービス業	▲38.9	▲12.9	▲30.3	▲33.3
全産業	▲19.8	▲15.8	▲24.0	▲31.0

売上高と収益 (BSI)



◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間 B S I : ▲14.7 (前期比▲11.9ポイント)
3業種で低下

雇用者数の現状 B S I : ▲36.5 (前期比+ 1.9ポイント)
4業種で上昇

【来期】

所定外労働時間 B S I : ▲17.8 (今期比▲ 3.1ポイント)

◎経営上の問題点

- 1位:「売上不振」(40.2%)
- 2位:「人手不足」(20.1%)
- 3位:「人材不足」(11.9%)
- 4位:「単価低下」(6.2%)
- 4位:「仕入高騰」(6.2%)

業種別にみると、「売上不振」と回答した割合は『卸・小売業』で52.1%と高く、「人手不足」または「人材不足」と回答した割合は『建設業』で61.5%と高い。

前回調査と比べると、「売上不振」が2.5ポイント、「単価低下」が1.9ポイント上昇する一方、「人材不足」が4.5ポイント低下した。

◎設備投資実施割合

【今期】

実施企業の割合: 30.5% (前期比▲6.2ポイント)
5業種で減少

<投資目的>

- 1位:「補修・更新」(63.3%)
- 2位:「生産能力の拡大・売上増加」(18.3%)
- 3位:「合理化・省力化」(5.0%)

【来期】

実施予定企業の割合: 36.0% (今期比+5.5ポイント)
4業種で増加見通し

<投資目的>

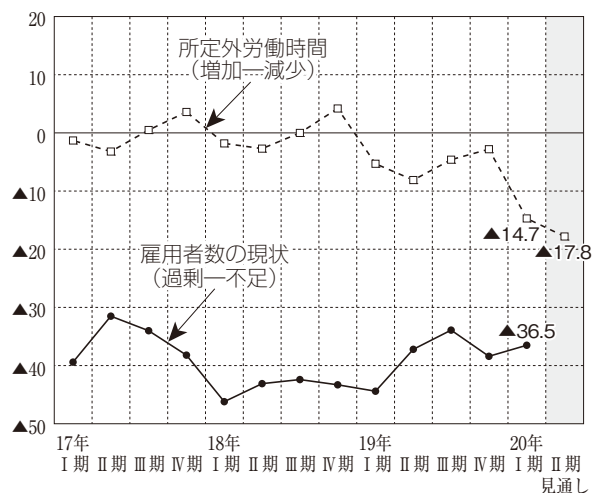
- 1位:「補修・更新」(57.7%)
- 2位:「生産能力の拡大・売上増加」(14.1%)
- 3位:「合理化・省力化」(8.5%)

◎「令和2年度(2020年度)の採用予定」について

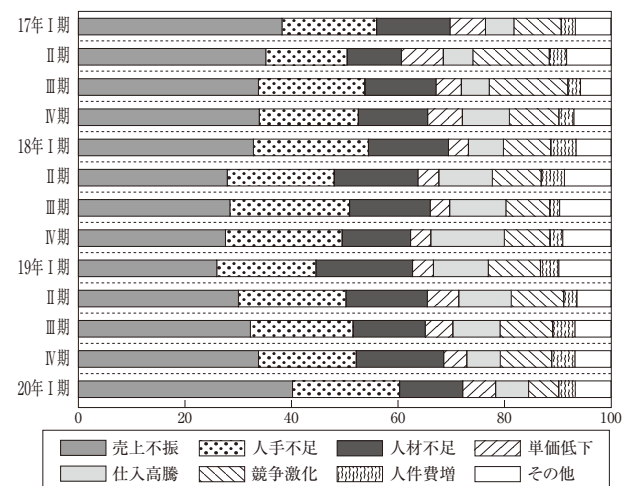
今回の調査において、「令和2年度(2020年度)の採用予定」について尋ねたところ、「新規卒業者を採用する」が35.8%、「中途採用を予定している」が27.5%、「採用しない」が24.9%、「未定」が11.9%となった。

1年前の「平成31年度(2019年度)の採用予定」についての調査と比較して、「新規卒業者を採用する」が2.0ポイント減少し、「中途採用を予定している」が11.6ポイント増加した。

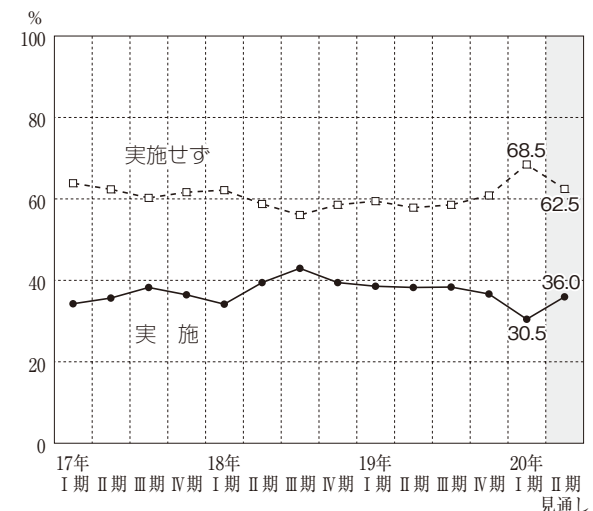
所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



経営上の問題点 (%)



設備投資実施割合



わずかに改善

◎業況判断

【今期】(2020年1～3月期〈I期〉)

業況判断BSI：▲21.5 (前期比+0.6㊦)

＜内訳＞

- ・よくなった 10.8% (前期比+2.0㊦)
- ・悪くなった 32.3% (前期比+1.4㊦)
- ・変わらない 56.9% (前期比▲3.4㊦)

＜業種別＞

- ・前期比改善：3業種(「鉄・非鉄・金属」「機械」「食料品」)
- ・前期比悪化：3業種(「木材・家具」「印刷・出版」「その他」)
- ・前期比不変：2業種(「化学・石油」「窯業・土石」)

今期の業況判断BSIが改善したのは半導体産業の持ち直しなどが一因と考えられるものの、全体としてはほぼ横ばいとなった。

【来期】(2020年4～6月期〈II期〉)

業況判断BSI：▲20.0 (今期比+1.5㊦)

＜内訳＞

- ・よくなる 7.7% (今期比▲3.1㊦)
- ・悪くなる 27.7% (今期比▲4.6㊦)
- ・変わらない 64.6% (今期比+7.7㊦)

＜業種別＞

- ・今期比改善：2業種(「機械」「木材・家具」)
- ・今期比悪化：2業種(「鉄・非鉄・金属」「食料品」)
- ・今期比不変：4業種(「化学・石油」「印刷・出版」「窯業・土石」「その他」)

来期は全体の業況判断BSIは今期よりも若干改善する予想となっているものの、マイナス水準は継続する見通しである。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲25.0 (前期比▲19.1㊦)

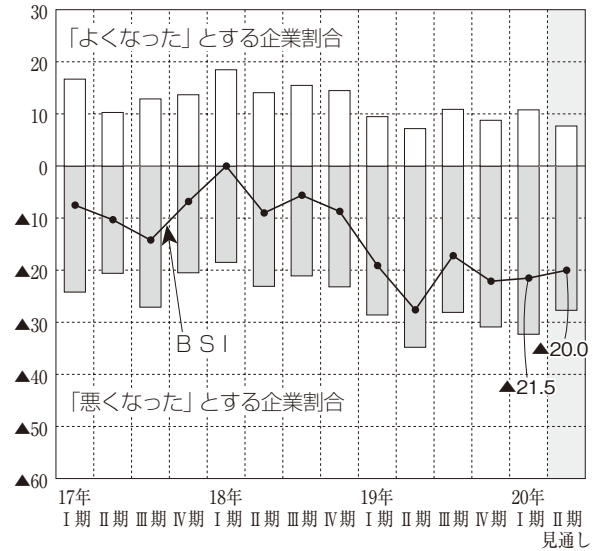
収益BSI：▲23.5 (前期比▲11.6㊦)

【来期】

売上高BSI：▲12.5 (今期比+12.5㊦)

収益BSI：▲20.3 (今期比+3.2㊦)

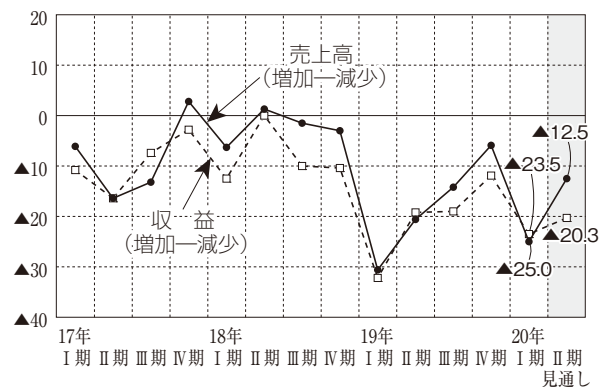
業況判断 (B S I)



業況判断指数内訳 (B S I)

	2019年 III期	2019年 IV期	2020年 I期	2020年 II期見通し
化学・石油	0.0	▲16.7	▲16.7	▲16.7
鉄・非鉄・金属	▲33.3	▲22.2	42.9	▲14.3
機 械	▲25.0	▲30.0	▲26.3	▲15.8
食 料 品	▲14.3	▲16.7	0.0	▲25.0
木材・家具	▲16.6	▲60.0	▲88.9	▲44.5
印刷・出版	▲20.0	▲20.0	▲33.3	▲33.3
窯業・土石	0.0	0.0	0.0	0.0
そ の 他	0.0	0.0	▲14.3	0.0
製 造 業	▲17.2	▲22.1	▲21.5	▲20.0

売上高と収益 (B S I)



卸売業は大幅な悪化、小売業は横ばい

◎業況判断

【今期】(2020年1～3月期〈I期〉)

『卸売業』

業況判断BSI：▲50.0(前期比▲37.5㊦)

<内訳>

- ・よくなった 0.0%(前期比▲8.3㊦)
- ・悪くなった 50.0%(前期比+29.2㊦)
- ・変わらない 50.0%(前期比▲20.8㊦)

『小売業』

業況判断BSI：▲36.4(前期比+0.3㊦)

<内訳>

- ・よくなった 9.1%(前期比+5.8㊦)
- ・悪くなった 45.5%(前期比+5.5㊦)
- ・変わらない 45.5%(前期比▲11.2㊦)

前期と比べて消費増税による影響はやや緩和する一方、記録的な暖冬で衣料品や暖房器具など季節商材の動きが鈍く、身の回り品や住宅関連設備を取り扱う卸売業者などで業況悪化がみられた。

【来期】(2020年1～3月期〈I期〉)

『卸売業』

業況判断BSI：▲44.4(今期比+5.6㊦)

『小売業』

業況判断BSI：▲48.5(今期比▲12.1㊦)

来期は新型コロナウイルスの影響で外出者の減少などによる消費の低迷を危惧する声があった。

◎卸売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲61.1(前期比▲56.9㊦)

収益BSI：▲66.7(前期比▲45.9㊦)

【来期】

売上高BSI：▲22.2(今期比+38.9㊦)

収益BSI：▲27.7(今期比+39.0㊦)

◎小売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲48.4(前期比▲31.7㊦)

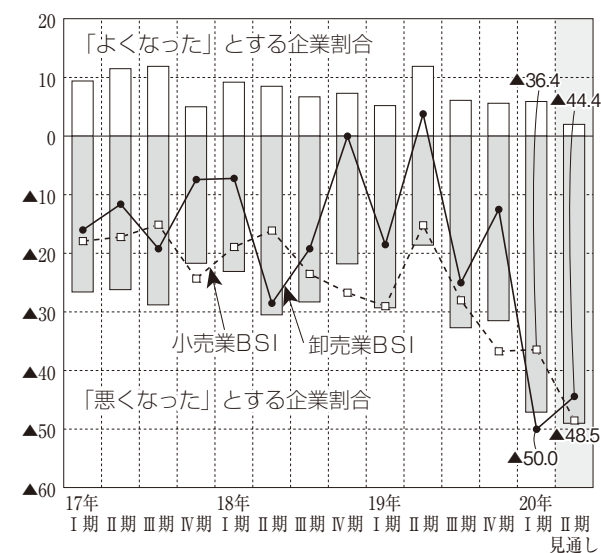
収益BSI：▲33.3(前期比▲13.3㊦)

【来期】

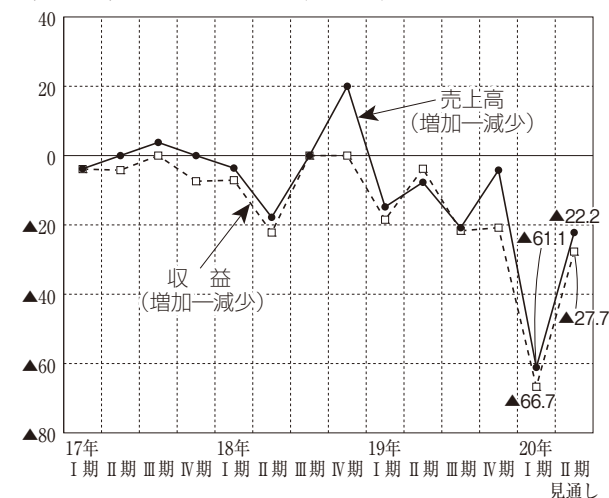
売上高BSI：▲48.4(今期比±0.0㊦)

収益BSI：▲48.4(今期比▲15.1㊦)

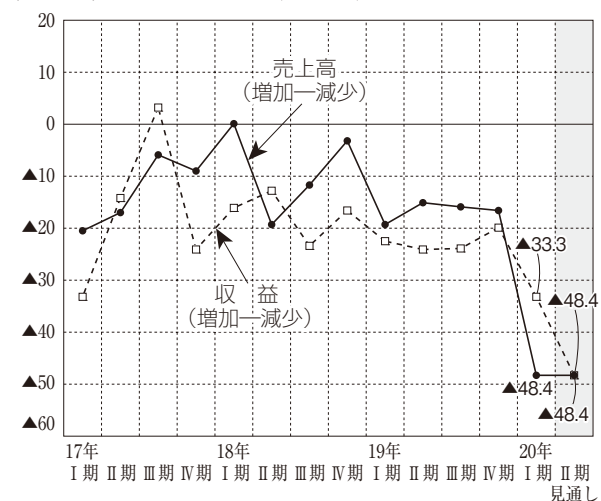
業況判断(BSI)



〔卸売業〕売上高と収益(BSI)



〔小売業〕売上高と収益(BSI)



2期ぶりに改善

◎業況判断

【今期】 (2020年1～3月期〈I期〉)

業況判断BSI：+ 7.7 (前期比+7.7㊦)

＜内訳＞

- ・よくなった 19.2% (前期比+11.8㊦)
- ・悪くなった 11.5% (前期比+ 4.1㊦)
- ・変わらない 69.2% (前期比▲16.0㊦)

【来期】 (2020年4～6月期〈II期〉)

業況判断BSI：▲34.6 (今期比▲42.3㊦)

＜内訳＞

- ・よくなる 0.0% (今期比▲19.2㊦)
- ・悪くなる 34.6% (今期比+23.1㊦)
- ・変わらない 65.4% (今期比▲ 3.8㊦)

来期の業況判断BSIは大幅に悪化に転じる見通しである。新型コロナウイルスの感染拡大で、住宅設備メーカーでは中国からの部品調達が難しくなっており、商品の受注停止や納期遅れが相次いでいることから、工期に影響が出ることを危惧していると考えられる。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：+ 7.7 (前期比+15.1㊦)

収益BSI：+11.5 (前期比+22.6㊦)

前回調査における2020年I期の見通しと比較すると売上高BSIはほぼ同程度であったものの、収益BSIは20ポイント以上の上方修正となった。

【来期】

売上高BSI：▲42.3 (今期比▲50.0㊦)

収益BSI：▲50.0 (今期比▲61.5㊦)

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間BSI：+16.0 (前期比+19.7㊦)

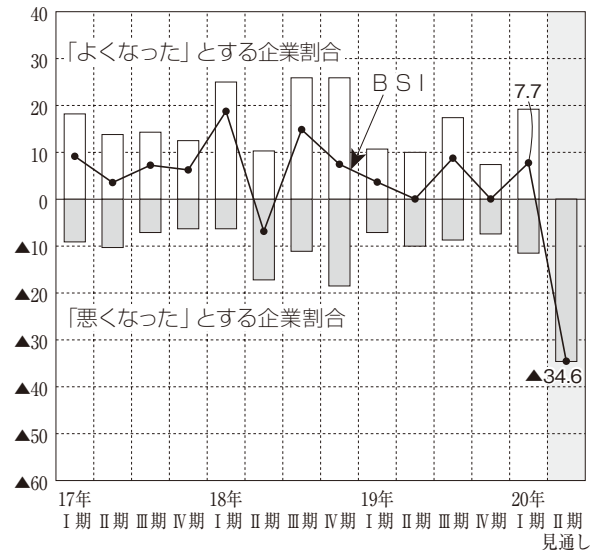
雇用者数の現状BSI：▲56.0 (前期比+14.4㊦)

前回調査と同様、雇用者数を「過剰」と回答した企業はなく、半数を超える会社が雇用者数を「不足」と回答している。

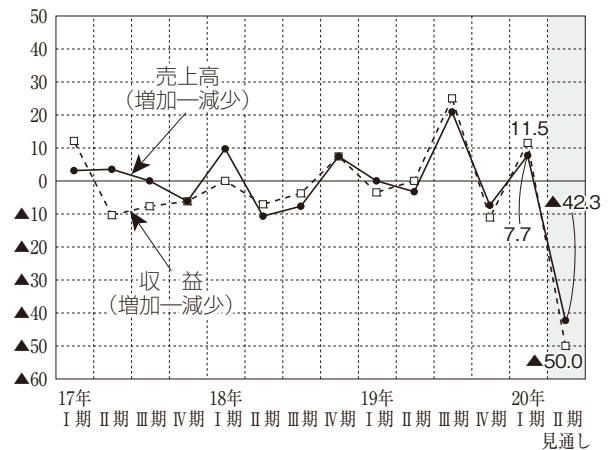
【来期】

所定外労働時間BSI：▲28.0 (今期比▲44.0㊦)

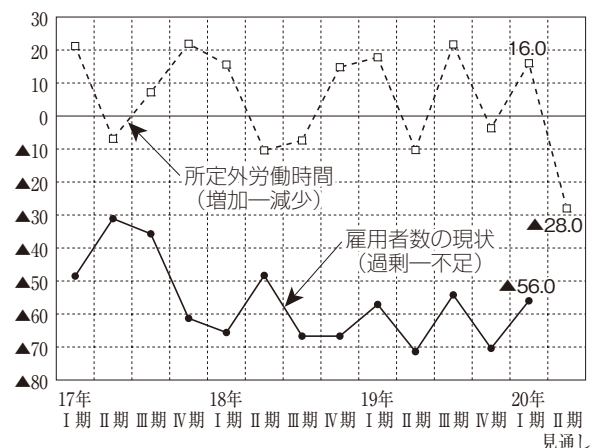
業況判断 (B S I)



売上高と収益 (B S I)



所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



2期ぶりに悪化

◎業況判断

【今期】(2020年1～3月期〈I期〉)

業況判断BSI : ▲30.3 (前期比▲17.4㊦)

<内訳>

- ・よくなった 6.1% (前期比▲11.8㊦)
- ・悪くなった 36.4% (前期比+ 5.6㊦)
- ・変わらない 57.6% (前期比+ 6.3㊦)

サービス業のうち観光関連の14社をみると、「よくなった」と回答した企業は前期比24.2ポイント減の7.1%、「悪くなった」と回答した企業は同4.4ポイント増の35.7%。観光関連以外(19社)では、「よくなった」と回答した企業が5.3%、「悪くなった」と回答した企業が36.8%となった。新型コロナウイルスの影響により全国的に旅行自粛ムードが漂っており、観光関連、特にホテル・旅館の企業を中心に悪化がみられた。

【来期】(2020年4～6月期〈II期〉)

業況判断BSI : ▲33.3 (今期比▲3.0㊦)

<内訳>

- ・よくなる 6.1% (今期比±0.0㊦)
- ・悪くなる 39.4% (今期比+3.0㊦)
- ・変わらない 54.5% (今期比▲3.1㊦)

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲33.4 (前期比▲15.4㊦)

収益BSI : ▲21.2 (前期比▲ 3.3㊦)

【来期】

売上高BSI : ▲33.3 (今期比+ 0.1㊦)

収益BSI : ▲24.3 (今期比▲ 3.1㊦)

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

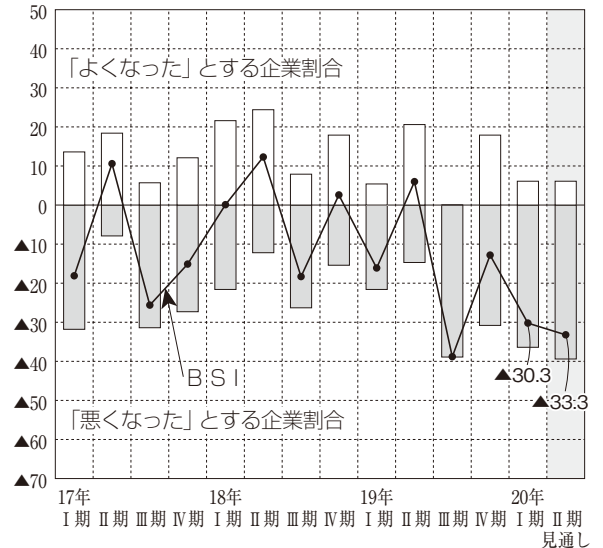
所定外労働時間BSI : ▲21.9 (前期比▲24.5㊦)

雇用者数の現状BSI : ▲50.0 (前期比▲ 3.9㊦)

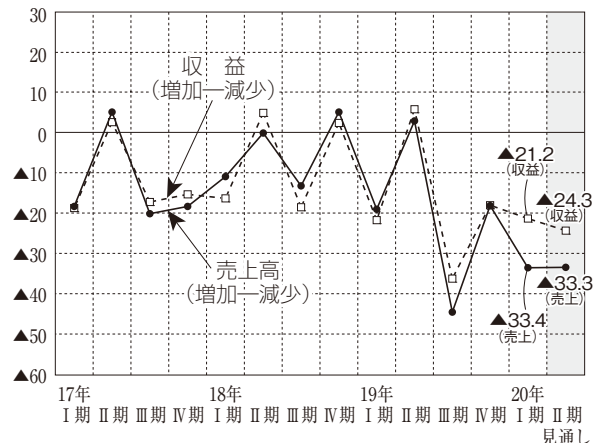
【来期】

所定外労働時間BSI : ▲15.6 (今期比+ 6.3㊦)

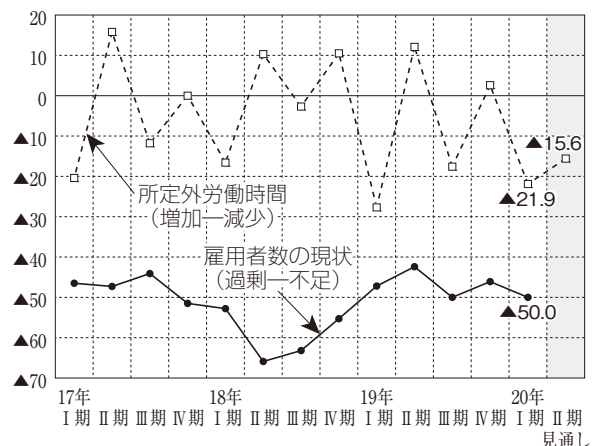
業況判断 (BSI)



売上高と収益 (BSI)



所定外労働時間と雇用者数の現状 (BSI)



BSIとは

BSIとは“Business Survey Index”の略

企業経営者の業況に関する判断や景気見通しを“よくなる・よくなった”、“変わらない”、“悪くなる・悪くなった”という3つの形式で回答を求め、これを数値であらわしたものである。

BSIは次の数式で求められる。

①[よくなる]+[変わらない]+[悪くなる]=100%とする

②[変わらない]の回答分を除く

③ $BSI = [よくなる] - [悪くなる]$

BSIが前期を上回れば景気は改善、前期を下回れば悪化という見方をする。

調査の概要

当調査は、大銀経済経営研究所、大分信用金庫、大分県産業創造機構の三者合同によるアンケート調査である。

◎調査時点 2020年2月20日

◎調査の内容

- ・自社の景況の実績と見通し
- ・売上高と収益の実績と見通し
- ・設備投資実施割合
- ・経営上の問題点など

◎調査対象

- ・県内に本社または出先事業所を有する企業460社

◎回答企業数 200社

- ・回答率 43.5%

・規模別割合

資本金1千万円未満・個人	9.0%
資本金1千万円～1億円未満	63.5%
資本金1億円以上	15.5%
無回答	12.0%